

令和 5 年度 長崎市ストップCKDネットワーク会議 議事録

日 時 令和 5 年 8 月 2 日（水） 19:00～19:50

場 所 テレビ会議 事務局：15 階中会議室

議事の概要

議題 1) 長崎市ストップCKDネットワーク会議会長選出

- ・長崎大学病院 腎臓内科 教授の西野委員を選出
- ・職務代理者として、長崎市医師会の横田委員を指名

議題 2) 長崎市の慢性腎臓病（CKD）対策について

- ・令和 4 年の透析患者は、1346 人。新規人工透析患者は、179 人。
- ・新規透析患者の原疾患の内訳は、糖尿病性腎症 54 人（30.2%）、腎硬化症 53 人（29.6%）、慢性糸球体腎炎 27 人（15.1%）

⇒委員からの意見

- ・10 年間新規透析患者が減っていないが、効果が見えないという認識でよいのか。

⇒事務局回答

- ・70 歳代以上の割合が増加していることから、一定の効果はあると考えている。

⇒委員からの意見

- ・R3 年度と比較し、糖尿病性腎症の比率が減っている。腎硬化症の 50 名のかたの分析をすれば、事業の効果がもう少し解析できるのではないのか。
- ・昔は、透析を導入していなかったような高齢者も、導入するようになった。透析導入については、もう少し分析しないといけないのではないのか。
- ・人工透析患者数の推移は、全国と比較してどうなのか。
（腎専門医回答）全国的には、下がってきているか、もしくは横ばい。市も同じ状況。

議題 3) 令和 4 年度の取り組みについて（報告）

- ・令和 4 年度までの指導依頼延べ件数は 481 件、平均年齢は 72.6 歳
糖尿病性腎臓病重症化予防事業の対象者 67 人
- ・重症化予防教室 長崎大学病院腎臓内科より講師派遣（R2 年度・3 年度は動画を放映）
- ・3 歳児健診で来所された保護者向けに尿検査キットを配布（R4 年度で終了）

議題 4) 令和 5 年度の取り組みについて（計画）

- ・昨年度と比較しイベントが増加したため、普及啓発を図る
- ・重症化予防教室 長崎大学病院腎臓内科より講師派遣
- ・病診連携研修会 医師向け及びコメディカル向け研修会を併せて実施予定
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について
後期高齢者については、これまではかかりつけ医からの依頼により保健指導を

実施していたが、一部の地域では、国保被保険者と同様に症例検討会后、かかりつけ医から対象者へ保健指導の参加を促していただくようになる。

⇒委員からの意見

- ・この数年コロナでできなかった活動というのは、栄養指導のほかこういったものがあるのか。また、数値に影響しているのか。

⇒事務局回答

- ・栄養指導については、件数は減っているが、継続してできている。やはり、集合形式でのイベントや普及啓発については、できにくくなった。数値について、分析して取り組みに活かせるところがないか考えていく。

⇒委員からの意見

- ・この会議を10年やっているため、腎硬化症についてどう評価するかとか、どういった対策を立てていくかとか、そういった幅を広げた対策を考えないといけない。血圧のコントロールとか、循環器の先生方と一緒に取組を考えていくとかが課題では。
- ・糸球体腎炎が全国的に減っているのに、市は増加していることも気になる。
- ・そもそも特定健診の受診率が低い。上げるためにはどうしたらよいのか。
- ・栄養指導について、G2の14名のうち、5名が悪化というのは、詳しい読み取りが必要ではないか。

議題5) 長崎市糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムについて

- ・長崎県のプログラムが、令和5年3月15日に改定されたため、市のプログラムも県のプログラムに基づき、改定したい。

⇒委員からの意見

- ・改定についてこれでいいと思う。
- ・蛋白尿の陽性であったり、検尿異常をはやめにご紹介いただくこと、悪化が早い症例は、専門医に早くつなげてほしい。